



松国保健だより mini



令和3年9月1日

千葉県立松戸国際高校 保健室

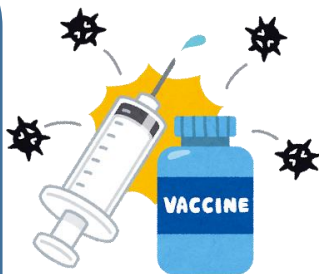
夏休みが明け、学校が始まりました。コロナ第5波の影響で、分散登校・時差登校からのスタートとなりました。現在日本で流行している変異ウイルス「デルタ株」は今までより大変感染力が強いことがわかっています。来週に控えた松耀祭を成功させるためにも、今まで以上に感染症対策に力を入れていきましょう。

今回は、発症予防効果が高いとされているワクチンについてお届けします。

Q.そもそも予防接種・ワクチンとは？

A. 感染症にかかると、原因となる病原体（ウイルスや細菌など）に対する「**免疫**」（抵抗力）ができます。免疫ができることで、その感染症に再びかかりにくくなったり、かかっても症状が軽くなったりするようになります。

予防接種とは、このような体の仕組みを使って病気に対する免疫をつけたり、免疫を強くするために、ワクチンを接種することをいいます。



メッセンジャー

Q. m RNA ワクチンって何？

A. 新型コロナウイルスのワクチンとして承認されたmRNAワクチンとは、ウイルスを構成するタンパク質の遺伝情報を投与するワクチンです。その遺伝情報をもとに、体内でウイルスのタンパク質を作り、そのタンパク質に対する**抗体**が作られることで**免疫を獲得**します。

病原性を弱めた病原体を接種する生ワクチンとは違い、原理的にウイルスそのものに感染することはありません。

Q. ワクチンの効果って？



A1. ファイザー社/モデルナ社 ともに95%前後の発症予防効果あり

いずれのワクチンも、薬事承認前に、海外で発症予防効果を確認するための臨床試験が実施されています。仮に感染し、発症してしまったとしても、**症状のある期間が短くなったり、重症化を防いだりする効果も期待できることがわかっています。**

A2. 医療機関の負担を減らすことができる

人工呼吸器などによる治療のため入院が必要な重症患者が増えることで、医師や看護師がその対応に追われ、予定されている手術が延期になったり、事故や熱中症による救急搬送の受け入れが難しい状況が発生しています。ワクチンを接種することで、重症患者を減らすことが期待でき、医療機関の負担を減らすことに繋がります。



ワクチン接種に関しては様々な情報が飛び交っており、どの情報が正しいのか判断に迷ってしまいますよね。メリットよりもデメリットの方が大きく見えている人もいると思います。16歳以上の方は接種の際の保護者の同意書は必要ありませんが、ご家庭で話し合った上で、自分自身で情報を収集し総合的に検討して、接種の判断をしてください。

次回は、ワクチンの副反応についてお届けします！



<参考文献>厚生労働省、「新型コロナワクチン Q&A」.

<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/>,(参照 2021-8-25)